

## 福岡空港構想・施設計画段階における検討内容(案)

構想・施設計画段階において検討する内容は、概ね以下のとおり。

### ○航空需要予測の精査

総合的な調査においても航空需要予測を行ったが、今後必要となる施設規模を検討するため、最新のデータを用いて航空需要予測値の精査を行う。

### ○滑走路等の配置の確定

総合的な調査で提示した代表案(西側210m改良案)をもとに、滑走路及び誘導路等の配置を確定する。

### ○施設配置計画等の確定と拡張用地規模の検討

滑走路及び誘導路等の配置を踏まえ、各種施設の配置計画を確定し、用地拡張の規模について詳細な検討を行う。

### ○航空機騒音の影響

需要予測の精査結果や増設滑走路の運用方法等を踏まえ、航空機騒音による影響範囲の検討を行う。

### ○コスト縮減・工期短縮等の検討

施設配置計画等に基づき、事業費及び工期について精査する。その際にはコスト縮減や早期供用の観点からも検討を深める。

### ○費用便益分析

事業採択の重要な判断材料として、新たな需要予測値に基づいた費用便益分析を行う。

### ○その他

空港利用者の利便性向上方策など、各種課題についても可能な限り検討を行う。